

和み

第7号 2007.12

発行:滋賀県立リハビリテーションセンター
〒524-8524 守山市守山5丁目4-30
(成人病センター内)
TEL:077-582-8157 FAX:077-582-5726
HP:http://www.pref.shiga.jp/e/rehabili/

“全国脳卒中者の集い”盛大に開催

平成19年10月21日全国脳卒中者友の会連合会滋賀大会が開催されました。毎年この全国大会は開かれるのですが、参加される会員さん達は、不自由な身体にも関わらず、全国から来られます。遠来の人達をどの様にしてもてなすか、開催地として選ばれた滋賀県淡海の会の面目にかけた、参加者に共感と満足を与える大イベントです。

全国から来られる会員さんを出迎え、会場までの案内、受付、会場内での対応などを、県内の施設や企業などの協力を受け万全の態勢で臨みました。

淡海の会会員初め、全国友の会会員さん達が、三々五々と来会、300人余の参加者があり、熱気に包まれた大会となりました。式典では、公務お忙しい中を、嘉田知事ご本人が、福祉先進県・滋賀県を代表としてお祝いにご出席賜りました。厚生労働大臣からのメッセージもあり、式典挨拶は、多数の来賓の列席を頂き皆さんに祝辞を頂きかけたのですが、時間の関係で承れず残念でした。

歓迎セレモニーは、各地方を代表する民謡・お囃子・踊りも盛り込み素晴らしい舞台となり感動を呼びました。

そして私達脳卒中者には最も大事なりハビリ。滋賀県理学療法士会会長並河先生が、維持期のリハビリと題して、解りやすい講演、リハビリ指導をしていただき勉強になりました。

そして早川一光先生の講演は開始早々から音頭で手振り宜しく登上、ユーモアと機知に富んだ話術、そして忘れがちな日常生活に大切な教訓を痛烈に盛り込み、終始笑いに包まれた話は心を打ち、楽しみと感動を覚えたものです。

懇親会では、それぞれのテーブルには全国の会員同士が懇親を図れるよう配慮、舞台では歌と軽音楽で場を盛り上げ、和やかな、そして食事をしながらの懇親の場となりました。

来年大会開催県となる熊本県すずらん会と引き継ぎのバトンタッチをし、来年の再会を約して、楽しい有意義な一日の幕は降りました。
(脳卒中者友の会 淡海の会 清水 亨)



脳外傷友の会第7回全国大会 IN 滋賀 「私たちは働きたいこの街で暮らしたい」



NPO日本脳外傷友の会第7回全国大会を9月28日、29日、大津市雄琴で開催しました。

28日は交流会で、29日は前日からの宿泊者を含めて560余名もの方々にお集まりいただきました。

開会式では、知事をはじめご来賓の方々からご祝辞をいただき、引き続いて行政説明による滋賀のこれまでの取り組みと今後の展望について、次に高次脳機能障害者に対する雇用支援施策について厚生労働省障害者雇用対策課より基調講演をいただきました。

午後は、5名の当事者が自分の言葉で日々の暮らし、工夫をして努力していること、また長い時間の経過や周囲の支えで希望の持てる進歩があること、目標は一般就労以外にもあるということなどを実体験をふまえて語ってくれました。

その後のシンポジウムでは、むれやま荘、三重県身体障害者総合福祉センター、滋賀障害者職業センター、県

内外の作業所・企業のシンポジストから、退院後の生活の中でのリハビリテーション、家族的立場での作業所運営、自立支援法に基づいた高次脳機能障害者支援の取り組み、障害者雇用で普通に働き普通に暮らすことについて、発表と話し合いがもたれました。シンポジウムのまとめとしては、支援機関が実績を積みあげ根拠となるデータを基に、そこから支援を探っていく必要があること、同時にその人に合った働き、生きがいが必要であるということが確認されました。

今大会のアンケートに「大会に初めて参加しました。私は今日のこと、この障がいのことを明日とにかまわりの人に話していきます」という感想がありました。このことは次へつなげる第一歩です。この「和み」を手にとられた方もぜひとも皆さんに話し伝えてほしいと願います。

(脳外傷友の会「しが」・上坂・泉)

働き・暮らし応援センター 「東近江圏域 Tekito-」

「働き・暮らし応援センター」は、障害のある人の就労ニーズと企業の雇用ニーズを結びつけたり、実習の実施、職場の定着、就労に伴う生活のサポートするためのセンターで、現在は県内6カ所に設置されています。今回は、近江八幡市の平和堂5階にある東近江圏域のセンター「Tekito-(テキト-)」を訪問してきました。

Q1 なんで平和堂の5階?

買い物帰りに気軽に立ち寄れて、わざわざ相談しに行くという負担が軽く済む、だから、あえて平和堂の5階なのです(場所の配慮からすでに支援は始まっています!)

Q1 「働き」の「応援」って?

就職のガイダンス(集いやすさを考えてマクドナルドですること!)、企業見学・体験(何度も行って雇用側との距離を縮めていきます!)、その他、雇用側の障害者雇用の理解促進や、求人開拓、就労スタイルの調整(グループ就労等)など、多岐にわたります。文章にするとわかり難いですが、利用者の「働きたい」を実現するためにいつも担当と一緒に飛び回っているのです。

Q1 就職できたら「応援」はおしまい?

アフターフォローも、企業、利用者ともに常に行っています。大事なことは、順調なことを確認するのではなく、問題が生じたときにどのように乗り越えられるか、そこを支援どころとしてしています。山の乗り越えた体験をして初めて一つの「安定」の目安としています。その為にこまめな個別相談と企業訪問をしています。

Q1 「働き」を見据えた「暮らし」を「応援する」って?

たとえば働くためには朝早く起きて一日をスケジュール通りに過ごして…などなど、生活スタイルをしっかりと組み立てていかなければなりません。「おはよう」から就労ステップの第一歩として、どんな生活をすればいいのか、生活にどんな工夫があるのかを考えていくのです。

Q1 「働き」は一般就労だけですか? 作業所は?

自立支援法になって作業所も就労に向けたステップアップが求められるようになり、センターもその方法を提案しています。例えば企業からの受注品を作業所内ではなく、企業の敷地内で作業するように場所を変える…これだけでも利用者は自分の作業の流れを「仕事として」理解できるようになり、企業も利用者の頑張りを直接評価することができます(中にはそこからアルバイト雇用に繋がる人もいます!)。利用者のがんばりを社会的に評価していくことが、作業を仕事に変えていくコツです。障害が重い人でも、活動で作った作品を会社のスペースに飾ってもらう…このような形で企業が授産活動に関与できるという方法を作業所、企業の両方に提案しています。

Q1 「Tekito-(テキト-)」の特色はなんですか?

センターの取り組みは各圏域によって様々ですが、「Tekito-(テキト-)」の特色は、就職までのステップや働き方をたくさん用意して、利用者が準備から主体的にチョイスできるようにしているところです。また、利用者をニーズで切り取るのではなく圏域全体で支えていくという視点があります(今年の「Tekito-(テキト-)」の目標は「地域でどこでもトイレが借りられる地域づくり」なのです。)利用者だけの問題を解決するのではなく、支援を通して地域全体で「働き・暮らし」を応援できる力が持てるように実践しています。

仕事と暮らしに関するご相談があるときは、買い物ついでにちょっとのぞいてみてはいかがでしょうか?(*^_^*)(わたなべCP)

お近くの働き・暮らし応援センター

大津圏域 077-522-5142 甲賀圏域 0748-63-5830
湖東圏域 0749-21-2245 湖西圏域 0740-22-3876
東近江圏域 0748-36-7999 湖北圏域 0749-64-5130
滋賀県社会就労事業振興センター 077-566-8266
(各働き・暮らし応援センターのバックアップ機関)



おはこ 十八番を 熱唱!



去る11月14日、リハビリテーション科病棟でカラオケ大会を行いました。発声・構音のリハビリテーションや、精神的慰安・気分転換を図ることを目的とし、ご家族やスタッフも一緒に参加しました。歌謡曲や演歌など思い出の一曲を歌う方、照れくさそうにデュエットをする方、ほかの方の歌に思わず口ずさむ方…。みなさん、たまには秋の夜長にこんな過ごし方をするのもいかがでしょうか。

ワタクシ…手拍子に必死ですっかり写真を撮るのを忘れてしまいました。どうもすみません(-_-u) (ほりえNS)

知ってた? しっせこ♪ ユニバーサルデザイン

名前 ユニバーサル金封(株式会社マルアイ)

金封の水引きって難しくないですか? そんなとき開閉が簡単にできるのがこの金封です。

水引きを外さず上部のベロを抜くことで中袋の出し入れがしやすくなっています。片手でも出し入れをすることができました。しかし、短冊についている両面テープや購入時に入っているビニールの袋の開封は従来のものと代わりなく、細かな作業を必要とするので、よりいっそうの工夫があれば、と思いました。姉妹品として下部が開閉するお悔やみ用もあります。(ぱくPT)



滋賀県内のちょっと「リハビリ」 ご案内

| 日時・場所 | タイトル・内容 |
|---|--|
| H19年12月15日(土) 13:00~18:30 | 滋賀県障害者スポーツ協会30周年記念事業 講演「元巨人軍選手 中畑 清」、交流会 ※詳しくは077-522-6000まで |
| (合同)H20年1月6日(日) 14:00~16:30 (病院・施設)H20年1月27日(日) 10:00~16:30 (在宅)H20年2月17日(日) 10:00~16:30 | 平成19年度リハビリテーションセンター 専門研修 チームアプローチコース 「リハビリテーションケアに求められる チームアプローチ~挑戦と実践~」 ※詳しくは077-582-8157まで |
| H20年1月19,20日 (土、日) 10:00~16:00 | 高次脳機能障害研修会(従事者向け) 「高次脳機能障害の方の支援をつなぐ」 ※詳しくは077-582-8157(山田)まで |

編集後記

もう師走ですね。私はクリスマスより大晦日の方が好きです。大掃除
をしたい、おせちを作りたい、カレンダー・手帳が新しくなりたい、お参り
に行きたい楽しみが満載です。来年も、和みをおろしくおねがいします。